

伊根の暮らしナビ

田舎で暮らすという選択。

伊根町菅野区



菅野神楽

はじめに

少子化が進む伊根町の中でも、この菅野区には現在、**子どもがいません**。最年少は高校生(平成29年現在)で、この地区にとっての深刻な問題です。子どもを持つ世帯の移住を心待ちにしているので、地域の人は子どもを大事に見守ってくれるでしょう。

これは、伊根町菅野区の暮らしや文化を記載したパンフレットです。菅野区とはどのような場所なのか、知ってほしいという願いを込め、作成しました。

移住をお考えの方は、ぜひとも一読していただき、菅野区に住むみなさんの思いを知ってください。

菅野区に住む私たちも、移住者が菅野区になじめるよう、精一杯努めていきます。



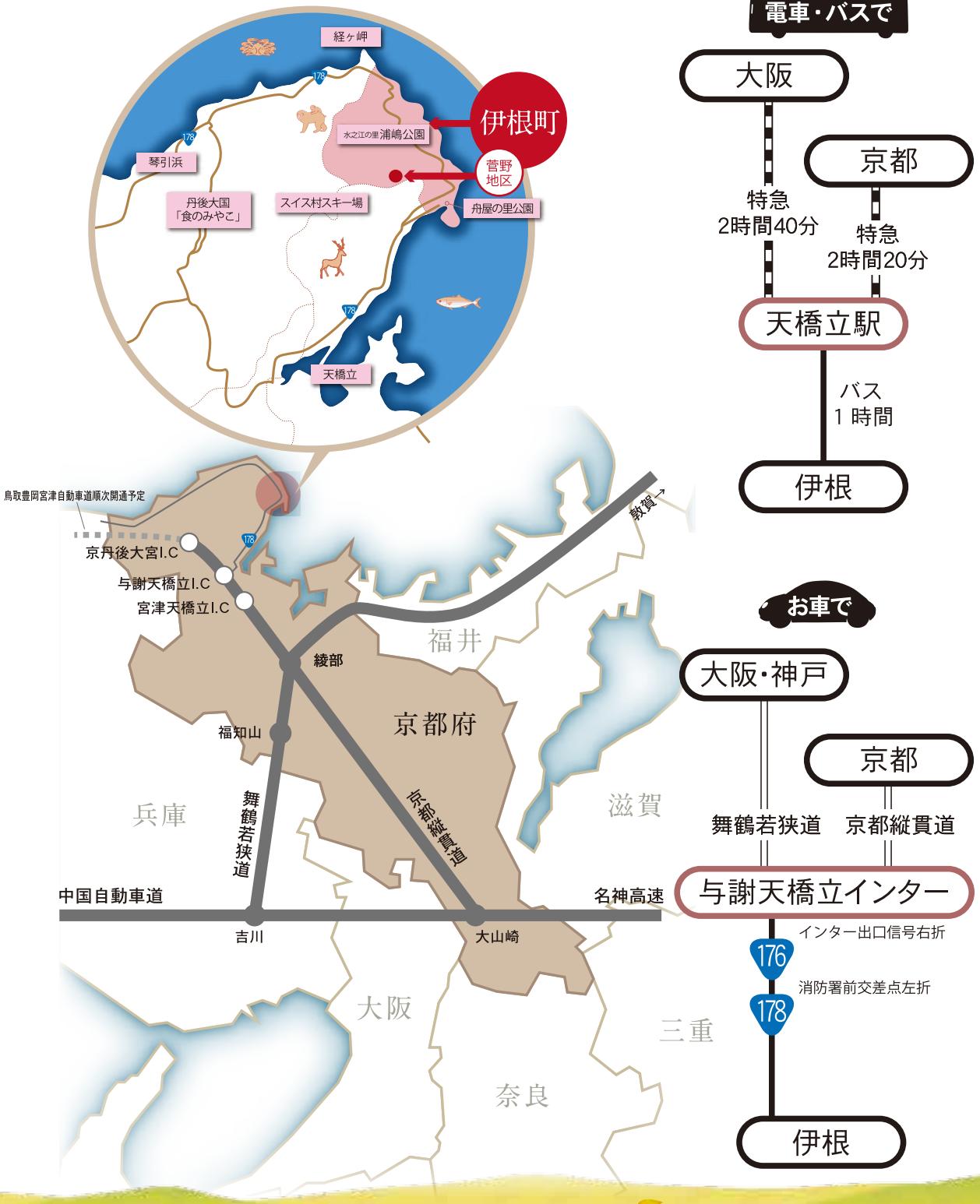
伊根町マスコットキャラクター「ふなyan」

はじめに	2
伊根ってドコ？	4
菅野区のこと	5
移住のギモン	6 ~ 7
菅野の祭り・ひと・行事	8 ~ 9
生活・仕事	10
「食」の力	11
移住支援ガイド・空き家バンク	12 ~ 13
ゴミのルール	14
活動団体・京都移住コンシェルジュ	15

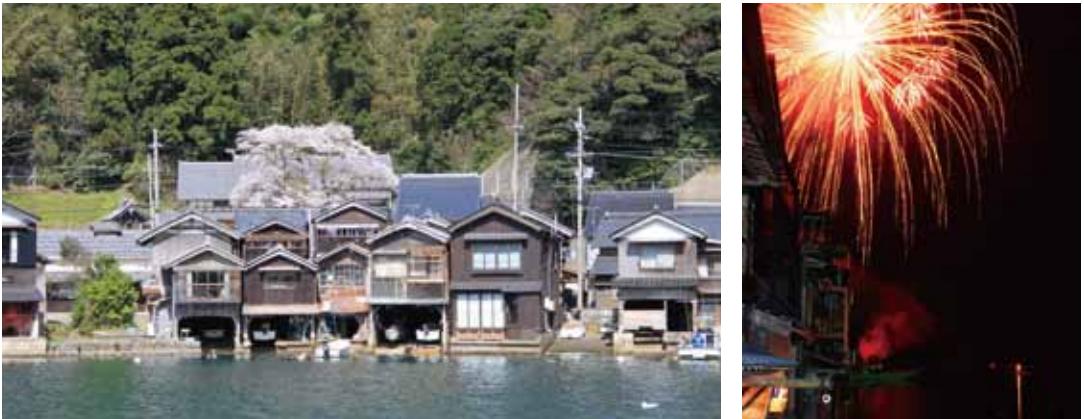


伊根ってドコ?

京都市内や大阪から3時間以上。
いわゆる「京都」のイメージとはちょっと違う、海沿いの風景。
波の音、海鳥の声、潮と森の香り。
ゆったりとした時間が流れる場所です。



伊根町と言えば『舟屋』。数々の映画やテレビ番組のロケが行われ、伊根ブリなど海産物も豊富です。夏の伊根花火も有名で、海に映る花火の景色を求めて、全国から観光客が訪れます。



民家の一階がそのまま海につながっている、伊根の舟屋



伊根花火

菅野区のこと。

菅野区は、伊根町の中でもちょっと山側に位置します。春にはちょっと歩けば山菜の宝庫、「筒川そば」が名産で、「筒川そばまつり」は恒例行事。こんにゃくやばたん汁なども楽しめます。また、350年以上の歴史を誇る「筒川まつり」には、全国から観光客が足を運びます。



筒川そばと山菜



筒川まつり



春は山菜の宝庫。手つかずの自然が楽しめる



菅野火祭

移住のギモン

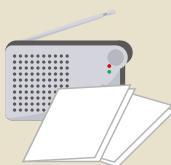


通信環境が心配!



町内どこでも、工事を行えば光回線を利用できます。インターネットを使うビジネスも問題ありません。ポケットWi-FiなどモバイルWi-Fiルーターはエリア圏外の可能性があります。契約会社へご確認ください。また、携帯電話の通信状況も各社にご確認ください。

町の情報を得る手段は?



月に1回発行の「広報伊根」、月に2回発行の「広報伊根お知らせ版」、回覧板で伊根町の情報が回ってきます。他に「ごみ収集スケジュール」や「議会だより」も発行されています。これらの配布物は各区長を通じて手元に届きます。転入したら必ず区長に挨拶をして、配布物が確実に届くようにしておきましょう。

伊根町では、全世帯に1機「防災行政無線」を配布しています。防災情報・緊急情報はもちろん、町からのお知らせも行っています。防災無線で放送した内容が確認できるメールマガジンや、町の公式Facebookもあります。

交通は?



伊根町には鉄道がなく、自家用車やバスで移動します。菅野は伊根町営コミュニティバス「筒川本庄線」「筒川日出線」が走っています。町内の診療所やJA、役場へ行く際に利用できます。本数が限られ、町外の買い物等へは乗り継ぎが必要なため、自家用車を持つ世帯がほとんどです。

買い物は?



- JA伊根支店「Aコープ」・・・4km
- スーパーにしがき・・・7.6km
- コンビニ（ローソン）・・・22km

役場では毎週火曜日に「役場マルシェ」を開催しています。地元の野菜や卵が購入できます。無人販売のため、小銭を用意して行きましょう。

子どもの通園 ・通学は?



【保育所】8:30～16:00までの保育時間で、16:00～18:00までは延長保育を行っています。延長保育料は要りません。

【小・中学校】菅野区に住むと、町立の本庄保育所・本庄小学校・伊根中学校へ通うことになります。通学は、保護者の送迎やスクールバスがあります。全て自校式の給食があります。

その他、子育て支援「ぱれぼれ」、放課後児童クラブ（本庄地区公民館）などがあります。

【高校】町内に府立の宮津高校伊根分校（定時制）があります。宮津市の府立宮津高校や私立暁星高校、府立海洋高校、与謝野町の府立加悦谷高校などの全日制高校に進学する生徒が多いようです。

→ゴミ出しのルールはP15をご覧ください。



菅野の祭り

菅野区の祭事等



筒川祭

伊根町の筒川地区、「菅野」で行われる神楽は、1665年に但馬地方から婿に来た人物が、造り酒屋をはじめるに当たり、水の確保に井戸掘職人を呼び、屋敷の周りに井戸を掘らせ、その井戸掘り職人が尾張の国に伝わる「神楽」を村の若い人に教えたのが始まりと伝えられています。

菅野の神楽は、曲がたくさんあり、12の曲と舞が奉納され、中でも12番目の和唐内は、獅子を生き捕りを演じ、迫力のある立ち回りが見もので、京都府の民族無形文化財に指定されています。

平成28年には町内の住民が出店を開き、京阪神から写真愛好家などが多数訪れる注目の祭となっています。

人手不足が深刻であるため、子どもなどすぐに主役になれます！



菅野火祭

あたご
愛宕山(火の神様)を参る祭で、女人禁制(過去女性が愛宕山に登ったり、祭を開催しなかった年に火災が起ったという)。昔は8月23日に行われていましたが、現在は人が集まりやすいお盆に開催しています。

午後7時過ぎ頃、たいまつに火を灯し、愛宕山に登ります。山で相撲をとったり、お神酒を飲んだりして、再びたいまつを持って午後9時頃に下りてきます。昔は夜中日付が変わるか変わらないかまで山の上で遊んでいました。

昼間は、火にくべる*木を切ったり、相撲で使う土俵を作ったりとい

う準備があります。女性は、各家庭で料理などを作って待っていることが多いです。

昔は、小学校3年生～中学生くらいまでの男子が参加する祭でした。小学校3～4年生が火消し役で、小学校5年生～中学生はたいまつを持つ役をしていました。現在は子どもがいないため、大人が参加しています。

平成28年は菅野区以外の参加者が町内外合わせて4名おり、祭のあとに公民館で食事を楽しみながら座談会を開きました。

*くべる…燃えさかる火の中に薪を投入すること



菅野区は、頻繁に集まって宴会をするなどの寄合が多くはありません。

毎月区費を納める日として集まりますが、

区長から報告を受けてすぐ解散します。

祭事や地域団体の活動にはしっかり参加し、地域との繋がりを築きながらも、日常は家族との時間や自分の仕事に集中する時間を取り環境が整っています。

ひと・行事

地域との付き合い



地域で集まる主な日

1月1日 【互礼会】 区民が集合し、新年の挨拶を行う。

4月下旬 【筒川祭】 菅野の上山神社に神楽を奉納する。

8月15日 【菅野火祭】たいまつを持って愛宕山に参り、山の上で相撲をとる。

毎月20日 区費を区長に納める。区長より報告を受ける。

菅野の生活

お金さえ出せば何でも手に入る便利な時代ですが、ここにはまだ自然と共生する人の暮らしが残っています。自然の恵みに感謝しながら生きる「丁寧な暮らし」、「スローライフ」、「本当に豊かな生き方」を実現できます。



主な産業は農業です。米、こんにゃく、そば、その他の野菜を育てています。現在、専業農家は少なく、家の所有する田んぼで米を作りながら、町内外の会社に勤務する兼業農家がほとんどです。自分で育てた農作物以外にも、山に自生する山菜を収穫したり、狩猟免許を持ち、イノシシを獲る人もいます。清流の恵みを受けた自然の食材、山里の暮らしを堪能できる環境です。



菅野区には現在子どもがいません。最年少は高校生で、この地区にとっての深刻な問題です。子どもを持つ世帯の移住を心待ちにしているので、地域の人は子どもを見守ってくれます。350年以上の歴史があり、京都府「民族無形文化財」に指定されている「筒川祭（神楽奉納）」にも参加でき、大自然と歴史文化に触れるながらのびのび子育てできます。伊根町には教育費完全無償化や、18歳まで医療費全額助成など、子育てに関する支援事業が多数あります。詳しくはP.12をご覧ください。



専業農家は4軒程ですが、兼業で米を作っていたり、自宅用の野菜を作っている世帯がほとんどです。農業初心者でも、周囲に農業の先生が沢山いるので、相談に乗ってもらえて安心です。農家レストランなど自分で開業したいという方も大歓迎です！美味しいお米や野菜、そば、こんにゃく、ジビエ（猪肉等）などが手に入る菅野区は、絶好の環境かもしれません。



筒川そば



昔から親しまれてきた筒川そばを水田の転作作物として栽培しています。このそば粉を使用した本格手打ちそば「筒川そば」は有名です。毎年1回筒川文化センターで新そばの時期に「筒川そば祭り」が行われ、にぎわいます。

「食」の力。

やまくじら



やまくじらとは、伊根町の天然のイノシシ肉の呼称。伊根町の獵師に代々受け継がれている解体方法により解体されたイノシシ肉は、ほとんど臭みを感じることはありません。イノシシ肉はスライスして販売されており、シシ鍋や塩・コショウで味付けした焼肉は絶品です。



米

筒川地区でも栽培されている丹後コシヒカリは、穀物検定協会の食味ランキングで4年連続12回目の最高ランク「特A」評価を頂いています。筒川の環境が育てたお米はとても美味しいです。

給食

筒川の子どもたちが通うのは本庄小学校です。本庄小学校の学校給食で使う食材はほとんどが本庄・筒川地区のものです。地産地消に取り組み、地元の農家さんとの繋がりを大切にしています。食材の仕入れは、町内の個人農家さんや、漁協から直接仕入れ、朝に収穫していただいた採れたての食材で作った給食をいただきます。地元の新鮮な海の幸、山の幸が揃う伊根町だからこそおいしい給食が提供できています。



本庄小学校の取組み

田植えの後には「さなぼり給食*」。お世話になっている生産者の方々と感謝の気持ちを込めて一緒に給食を食べる「招待給食」や、本格的な和食でマナー給食を体験する「お膳給食」、ナイフやフォークを用いた「テーブルマナー給食」などに取り組んでいます。また、全校一緒に食べるランチルーム給食では、調理員さんも一緒に給食を食べるため、毎日食後にありがとうの気持ちと給食の感想を伝えに行く取り組みを行っています。

*さなぼり給食…5~6月に行われる田植えの後に皆さんお疲れ様という気持ちを込めて農家さんを学校に招待して児童と一緒に給食を食べる。

● 招待給食

年度末に生産者の方々を招待して一緒に食べる給食。この日は伊根町産の食材のみを使用してメニューを考える。28年度は春に田植えをしたもち米を使用しておこわを作った。



● テーブルマナー給食

AET*の先生の出身地の食事をナイフとフォークを使って食べる給食

● お膳給食

修学旅行に行く6年生が対象

*AET…日本人の英語教師とチームで授業を行う外国人講師

様々な支援について



※支援を受けるには条件等がありますので、事前に担当課にご確認ください。

子育て支援

医療費の助成	高校生以下の医療費は無償
保育料の軽減	第2子は保育料半額、第3子以降は保育料無料
お子様たんじょう 祝い金	新生児1人につき5万円のお祝い金を交付します。
「ぱれぱれ」	0歳から保育園に入園するまでの親子が交流できる場「ぱれぱれ」を月に7回（曜日不定期、9時から11時まで）開設しています。子育てや子どもの発達のことや心配ごとなどの相談も受け付けています。
子育て支援センター	子育ての相談や遊びの場を提供し、未就園児の子育てをしている方のサポートをします。
放課後児童クラブ	共働き家庭等の小学生の子どもたちに対して、安心安全な遊びや生活の場を提供しています。
保育所	保育料は低く抑え、子育てを応援しています。一時預り・延長保育なども行っています。昼食は、完全給食をしています。（毎日温かいご飯が食べられます。）
妊婦健診・ 妊婦歯科健診	安全な出産ができるように、妊婦健康診査費用、妊婦歯科健康診査費用の一部や、不妊症に悩む方の治療費の一部を助成しています。
乳児健診、1歳半 健診、3歳児健診	発育・発達状況の健診を実施します。

伊根町ホームページでは、他にも就労に関することや医療・子育ての情報など、移住のための様々な情報を発信しています。

伊根町HP ➡ <http://www.town.ine.kyoto.jp>

*空き家バンク利用方法 *就労に関すること *介護・医療に関すること



伊根町ホームページ

教育支援

就学援助費	経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対してクラブ活動費、PTA会費、生徒会費を援助します。
高等学校生徒下宿費 等補助金	高等学校生徒の下宿等に要する経費の一部を補助します。補助金は生徒一人あたり7万円としています。
教育費無償化事業	教育に係る教材費、給食費、修学旅行費を無償としています。
医師・看護師奨学金	町内の医療機関、府立医科大学北部医療センターに従事しようとする方が修学に必要な資金を無利息で貸与します。また、返還免除もあります。

移住者支援

● 空き家バンクをご利用ください

伊根町内に不動産業者はありません。そこで伊根町では、空き家情報登録制度「空き家バンク」を開設しました。伊根町ホームページよりご覧いただけますので、ぜひ一度ご覧ください。（菅野区の物件は「筒川地区の空き家バンク」のファイルをご覧ください）

伊根町空き家バンク



※空き家バンクの
物件の一例



<http://www.town.ine.kyoto.jp/soshiki/kikakukanko/kikaku/ijuujouhou/index.html>

空き家改修事業
(伊根町移住促進・
空き家改修支援事業)

移住者が町内の空き家を改修する際にかかった経費の一部を補助します。また、空き家提供者（所有者）に対しても奨励金を支給します。
空き家改修補助：上限180万円（補助率10/10）
空き家流動化（奨励金）：10万円

その他の伊根町の支援内容については伊根町のHPに掲載しています。

◆移住支援ガイド

<http://www.town.ine.kyoto.jp/kurashi/sodan/1447314848256.html>



ゴミのルール

■ごみ収集日

ごみの収集日はごみの種類によって異なります。2ヶ月に1回役場住民生活課から配布される「ごみ回収予定表」をご確認ください。なお、「ごみ回収予定表」は伊根町ホームページからもダウンロードできます。
<http://www.town.ine.kyoto.jp/kurashi/kankyo/1454397139509.html>



■ごみ収集時間

ごみは決められた日の午前8時30分までに決められた場所(ごみステーション)に出してください。ごみステーションの位置は班長または区長にご確認ください。

ごみの種類	燃やすごみ (可)	プラスチック製容器包装(プラ)	燃やさないごみ (プ)	紙製容器包装 (紙)	その他
収集回数	週2回	週1回	月2回	月1回	・不燃ごみ ・大型ごみ ・有害ごみ ・資源ごみ ・有料ごみ ・缶類(缶) ・ビン類(ビ) ・ペットボトル(ペ) ・発泡スチロール(發) ・白色食品トレイ(白)
袋の指定	燃やすごみ収集袋	分別指定袋	なし ※袋の指定はありませんが、透明又は半透明で中の見える袋に入れてください	分別指定袋	
ごみの例	生ごみ(残飯類、野菜くず、魚のほね、紙くず(ティッシュ)、木の枝葉、生理用品、紙おむつ、貝殻など) ※汚れがあるものは必ず洗ってください	表示マークのついたもの。ポケットティッシュの袋、レジ袋、お菓子の袋、ペットボトルのラベル・キャップなど	リサイクル以外のビニール、プラスチック製品、革製品(バック、ぐなど)、長靴、シーツ、調理で使用したラップ、アルミホイルなど	表示マークのついたものが対象。お菓子やおもちゃの箱、ティッシュペーパーの箱、割り箸の袋など	

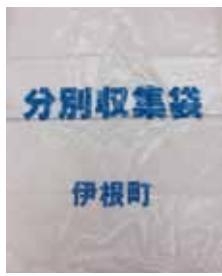
◆詳しいごみの分別方法は伊根町HPをご覧ください。

○ごみの出し方の手引き

<http://www.town.ine.kyoto.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/5/tebiki.pdf>

○ごみの分け方・収集日

<http://www.town.ine.kyoto.jp/kurashi/kankyo/1454397139509.html>



よくあるごみ分別の間違い

●ペットボトルの分別



●ゴミ袋を2重にしないでください

指定ごみ袋の中に、ごみの入ったスーパーのレジ袋を入れないでください。中身を分別して捨ててください。



菅野の活動団体

菅野村さ.いこう会

事務局〒626-0431 京都府与謝郡伊根町字菅野1986 菅野公民館

菅野のPR活動をする団体。ホームページ <http://suganomura.net/> の作成。

菅野祭神樂等の情報発信。今後は丸山の清流でつくられた米を「神楽米」としてブランド化し、PR・販売を行いたいと考えている。

菅野協力営農組合

筒川こんにゃく、神楽米の商品化、重機等を用いて環境整備を行う。補助金を活用してユンボと草刈りを購入。地域の整備に一役買っている。

農地・水環境保全会

農地を守るための会。年2回、菅野にある4本の用水路の清掃をし、一部消防団の役回りも果たす。共有の農道など草刈りをしたり電気柵を張ったりしながら、獣害から農地を守っている。今後は、川にいる生物の調査なども検討している。

菅野芸能保存会

菅野で行われる祭(神樂)を守り、次世代に伝える。棒振り・天狗・小太刀・太刀振りなど子どもの役柄があるが、現在菅野区の最年少は高校生。できなくなってしまった役もある。深刻な人手不足の中、他所から祭好きな人を呼び、参加してもら正在を考えている。

婦人会

京都移住コンシェルジュ

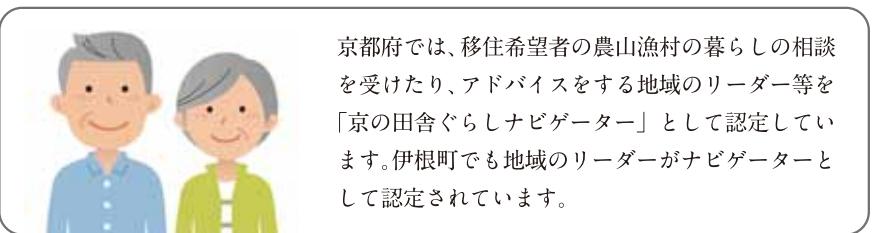
京都移住コンシェルジュは、京都府の農山漁村地域での田舎暮らしを希望される方を、移住相談から現地案内、地域定着まで伴走支援しています。個別相談だけでなく、首都圏や関西での移住に関するセミナーや、田舎暮らしを体験し、空家を巡るツアーの開催など、移住に関わる様々な活動を行っています。

京都、大阪、東京の3ヶ所に移住相談窓口を設けています。詳しくは、京都移住コンシェルジュのホームページをご覧ください。

ホームページ：<http://concierge.kyoto-iju.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/kyoto.iju.keikaku>

【京の田舎ぐらしナビゲーター】



ささいな事でも
気軽に
聞いて下さい

伊根町役場企画観光課

発行協力：伊根町菅野区のみなさん

〒626-0493

京都府与謝郡伊根町字日出651番地

電話 **0772-32-0502**

メール info@town.ine.kyoto.jp



<http://www.town.ine.kyoto.jp>